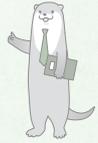


誰もが歳をとり、誰もが障がいを抱える可能性があります。高齢者や障がい者の困難を他人事として捉えるのではなく、自分にとって身近な問題として捉える姿勢がほしいところです。

福祉

p.31の「テーマ別 時事キーワード」も参考にしよう。



私たちが暮らす社会には、様々な障壁に突き当たり、困難を抱えながら生活を送っている人がいます。生活上の障壁を取り除くためには、どのような対策が必要かを考えてみましょう。

高齢者や障がい者の増加

高齢者（65歳以上の人々）の増加

日本の65歳以上の割合は総人口のおよそ30%（p.20参照）。

身体障がい者の増加

日本の在宅の身体障がい者（手帳所持者）は約430万人。そのうち、70%以上が高齢者。

高齢者や障がい者の生活の援助を拡大・充実させる必要性

高齢者の特徴

- ・体力の低下
- ・足腰が弱る
- ・判断力の低下 など

様々な障がい者の特徴

- ・歩くことができない
- ・目が見えない
- ・音が聞こえない など

障がい者であり高齢者でもある人が増えているのね。



障がい者であるとともに高齢者であるという点で、生活上の困難を二重に抱えている人々が増えていることに注意しましょう。

▼生活の中で高齢者や障がい者が困っていることを挙げてみましょう。

・道路で …… **放置自転車があり車椅子で通ることができない、車道と歩道の間に段差があって車椅子で道路を渡ることが難しい、など。**

・公共交通機関で … **バスや電車での乗り降りが難しい、長時間立ち続けるのが辛い、など。**

・建物や駅で … **玄関でかがみながら靴を脱ぐことが難しい、階段の昇り降りが難しい、券売機の操作が難しい、点字や音声での案内が少ない、など。**

・自宅で …… **階段の昇り降りが難しい、風呂にまたいで入ることが難しい、床の少しの段差でつまずいてしまう、など。**

「高齢者の特徴」と「様々な障がい者の特徴」を手掛かりとして、生活の各局面でどのような障がいが生じるか想像しましょう。

共生社会の実現

共生社会 = 誰もが尊重し合い、お互いのあり方を認め合って、人生を生き生きと送ることができる社会。

⇒共生社会の実現のためには、障壁（バリア）を取り除く必要があります。

バリアフリー = 人々が生活の中で抱えている様々な障壁（バリア）を取り除くこと。

▼身の回りでのどのようなバリアフリー化が可能か考えてみましょう。

足が不自由な人、目が不自由な人など、様々な障がい者がいる点に注意しましょう。

・道路で …… **でこぼこを埋める、自転車と歩行者を分離した歩道を作る、車道と歩道の間の段差を埋める、音の出る信号機を設置する、など。**

・公共交通機関で … **ノンステップバスやリフト付きバスを増やす、車両内に車椅子スペースを設置する、など。**

・建物や駅で … **玄関にスロープを付ける、階段に手すりを付ける、案内の字を大きくする、点字や音声での案内を増やす、など。**

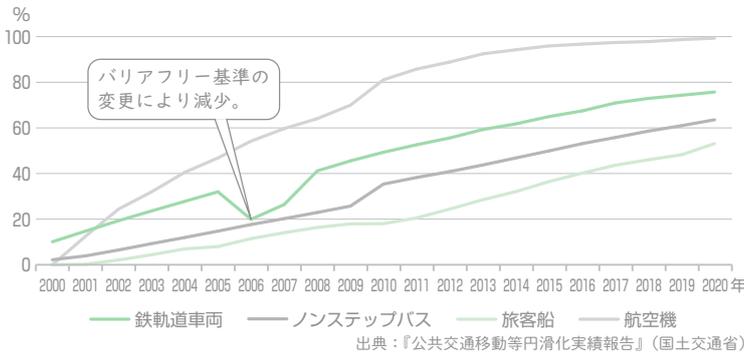
・自宅で …… **階段に手すりを付ける、玄関に手すりや腰を掛けるスペースを設ける、など。**

目の不自由な人のために点字ブロックを敷設することも考えられます。ただし、点字ブロックは車椅子の通行の妨げになるなど、利害が対立する場合があります。

交通バリアフリー法が制定された2000年以降、車両などにおけるバリアフリーが着実に進んでいることに着目します。

バリアフリー化の推進

車両などにおけるバリアフリー化の推移



ハートビルは、「heartful」と「building」を組み合わせた和製英語です。

法律の整備

1994年 「ハートビル法」制定

建築物などのバリアフリー化を努力義務に

2000年 「交通バリアフリー法」制定

駅などのバリアフリー化を努力義務に

2002年 「ハートビル法」改正

バリアフリー化を努力義務から義務に

2006年 「バリアフリー法」制定

「ハートビル法」と「交通バリアフリー法」を統合・拡充

2021年 「改正バリアフリー法」
全面施行

全国のバリアフリー化を一層推進

⇒バリアフリーの実現に向けて、国や自治体は段階的に進んだ法や条例に沿い、都市や地域の環境を改善しています。

高齢者や障がい者とともに平等な生活をする状態をノーマルとみなし、社会から排除しないようにしようとする考え方を、ノーマライゼーションといいます。心のバリアフリーは、ノーマライゼーションを実現するために不可欠な要素と言えます。

心のバリアフリーの推進

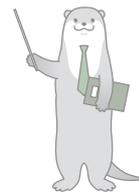
心のバリアフリー = 様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと。(出典：「ユニバーサルデザイン2020行動計画」)

⇒バリアフリー社会を実現するためには、「思いやりの心」を持って様々な人と接することも大切です。

▼心のバリアフリーを広めるための取り組みとして、どのようなことが考えられるでしょうか。

障がいのある人と触れ合う機会を設ける、高齢者や障がい者の疑似体験をする場を設ける、ポスターなどで多様な人への理解を促す、聴覚障がいのある人には手話や筆談でコミュニケーションをとる、心のバリアフリーノートを活用する、など。

SDGsの17の目標の中にも「すべての人に健康と福祉を」という目標があるよ。(p.35参照)



社会には障壁が存在し、その障壁を取り除く必要があるということに気付くことが大切です。また、思い込みでサポートしてしまう可能性がありますので、コミュニケーションをとって本当に必要なサポートをすることが求められます。